



今月のテーマ 『基本的教育と識字率向上月間』

第1444回例会

2016年9月1日 Vol.31/No.8

■本日の例会 / 第1445回 平成28年9月8日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……各委員長
- 台湾留学報告……ローターアクトクラブ
- 会員卓話……小川正宏 会員、西橋龍博 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……………54名
- ・出席者 ……………42名
- ・欠席者 ……………12名
- ・出席率 ……………77.78%
- ・8/18の修正出席率…87.50%

■会長挨拶

会長 香川美穂子



こんにちは！9月になりました。風にすこ～し冷たさが混じるようになり、お菓子屋さんには栗を使った物、ブティックに飾られる服の色も茶色系が並ぶようになって、秋を感じる今日この頃です。

先週の海洋高校模擬面接、ご参加頂いた方有難うございました。私は今年参加してみて学生達が随分変わってきているように思いました。今回担当したのは就職希望のクラスでしたが服装態度はほとんど問題無く、受け答えの内容もとってもきちんとしていたように思います。就職先についても「自分はこういう事が好きだからこういう会社に行きたい」、「将来は自分もこういう会社を作りたい」とはっきり夢を語ってくれました。男の子も女の子もです。海洋高校は普通高校と違い専門的資格を取る事が出来る専門性の高い学校だという事も有るでしょうが、高校生の時に自分の能力を見極めその次に驚いで行ける準備が出来るのはとても良い事と感じました。その対比的な事がつい2～3日前のテレビの番組の中であつたのですが、「親がせめて4年生の大学には行ってくれと言うが、親の意見を聞くべきか？」との質問に何人かの人が意見を述べるという物でした。同じ年齢でのこの将来に対する考え方の違い、これは何によるものでしょう。中学までの教育は社会生活をするにあたっての最低の知識を得るためのもので、国民は受ける義務と権利があります。更に教育を望む人は高等学校に進みもっと深い知識や学問を学ぶ訳で、我々の頃は女の子は高校を出ると就職が当たり前、進学するとしてもせいぜい短大までで4年制大学へ進むのは本当に少なかったです。半世紀前の話で「時代が違う」と言われるかもしれませんが、「大学教育とは何か」という事

は今も昔も変わらないと思うのです。4年間大学で学ぶと言う事は「高校まででは出来なかった専門性の高い学問を極めていく」という事であり、そのためには「自分の専門として何を学ぶのか」がその前の自分の選択としてあります。私達の頃はお稽古事といってもせいぜい1つか2つ。そういう物をやらせながら親はその子の能力や方向性を見ていたと思います。ところが今はいろんな習い事で1週間が埋まっているようですね。「色々やらせてその子の特性を調べる」というのなら結構ですが、「母親が仕事で出ているから帰ってくるまでの時間潰し」という話も聞きました。昔は「芸は身を助く」「一芸に秀でる者は全てに……」とも言います。「一つの事を極めると何事をもわかる」という事でしょう。今のお子さん達は広く浅くやる事によって「極める」という経験は出来ないのではないのでしょうか。ピアノのレッスンに「1週間練習せずに現れる」「レッスン時間中に、親に言えない事を先生相手におしゃべりして帰っていく」という話も聞きました。幼稚園が終わったら小学校、その次に中学校があつて次は高校、そして大学というシステムに乗っかっただけで育つ子供たちは「自分は何をやりたいの？」「なぜ上級学校に行くのか？」などと考える事も無く来てしまっているのでしょうか。そして「学位」を授けられる「大学」もその4年間がアルバイトと親睦会だけで過ぎ去るのでは……。それでは何のための大学かわかりません。大学とは学問をするところであり、学問をする気のない人は専門学校に行つて何かを早く身につけて就職の方がずっと経済的にも時間的にも無駄がないのではと感じます。私はオーストラリアとイギリスの大学を子供達のお陰で経験致しましたが、両方とも入るのはさほど難しくありませんが進級はとても厳しく、2年に上がる時には3分の1が居なくなる学校も



ありましたし1コマの授業を受けるために9時間予習をしないと付いていけないとも聞きました。日本のように教養学部は無くすぐ専門の学科が始まりますし、入試の時も専門性に合う学科が受験科目です。学生の勉強のために図書館は24時間開いていました。日本の大学では休講になると学生が喜ぶようですが(私も経験有ります)、向こうでは学生による先生評価があり休講や教え方に問題があると生徒からクレームが出て先生が首になっていました。学生は授業料を払っているから当然の事です。大学は3年間で終わりますが卒業するには当然大変な努力が必要であり、だからこそ卒業式はガウンと帽子を身につけ一人一人ステージに呼ばれて学長から学位を受け取る晴れがましい時でした。

勿論、家庭環境本人の性格により子供に将来を見据えた教育を与えたり環境を整えたりする事は一筋縄には行かない事かもしれませんが、その子の性格、家庭の状況から子供の将来を考えて指導するのは親以外ありません。もう我々の歳になっては子供より孫に対してのアドヴァイスになるでしょうが、その子の将来を見据え世の中の有り様を加味して能力をしっかり伸ばせる教育を与えるようにしていくのが、我々世代の務めでしょう。

#### ■幹事報告

副幹事 平松 寛



- ・日本事務局より9月のレート102円の連絡がありました。
- ・9月11日に行われます第4期RLIパートIの参加について

現在20名の参加しかいませんので、多くの参加をよろしく願いいたします。

- ・本日の理事役員会は延期といたします。

#### ■ロータリー情報プログラム 委員長 藤原英介



先日開催された「2016 規定審議会報告会」の内容をご紹介します。

この審議会は、本年4月に世界各国から総勢800名がシカゴに集結、6日間にわたり開催され、地区を代表して当クラブの委員長が参加されました。

事前に渡された分厚い議案書を読み込み、質疑応答をクリアしたメンバーのみが出席できると

いったハードな会議だそうです。

その中から、身近な問題として4つをご紹介します。

- ①例会の柔軟性(例会は月に2回実施すれば良い)
- ②会員の身分の規定の緩和
- ③人頭分担金の値上げ(事前の内容が差し替えられていたそうです)
- ④「入会金」の削除

その前段として、「標準ロータリークラブ定款・細則」と「宮崎中央ロータリークラブ定款・細則」、DLPとCLPについて、私なりの解釈を述べさせていただきます。

今回の変更が正式に認められると、国際的な枠組みはダイナミックに変化します。その中で、どのようなクラブを目指すのかを複数年かけて構築していく必要があると考えます。

一方で、各クラブの質疑応答の内容から、会員数や出席率、まじめな例会の在り方を強く意識している様子も感じられ、いかにも日本人的な発想だなという印象を受けました。

世界のクラブ観はよく言えば「おおらか」に、悪く言えば「大雑把」な流れになっているのは確かだと感じられました。

最後に、会員みなさん！先般のアンケート、お待ちしております。ご協力をお願いします！！

#### 会員卓話

甲斐裕隆 会員



#### 竹篠山 王楽寺 の由来

このお寺の正式名称は、竹篠山西方院王楽寺と言います。宮崎市瓜生野の高台に在ります。

天台宗比叡山延暦寺の末寺で、天台宗の開祖伝教大師の開山と伝えられています。

一説に、養老年間の創建とも云われていますが、千古の歴史を有する界隈きっての古刹です。

竹篠山は天孫瓊瓊杵尊の御子彦火火出見尊御誕生の地と伝えられ山上には尊ゆかりの高屋山陵(通称峯原古墳)を始め山腹には多くの横穴古墳が散在している歴史と伝説に富む由緒ある霊山です。

山の眺望豊けく、眼下に大淀川、日向灘、宮崎市街を一望に収めることが出来ます。

日向神代史には「天孫瓊瓊杵尊、笠狭の宮に至りし時、この地、朝日直射し、夕日の照る国、正

#### 発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

- 事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
  - 例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
- 会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敬治